

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）	2	60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	直井徳子他1名	実務経験	○		
実務内容	看護師として勤務後、三幸学園にて講師勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～3章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系、筋系の演習（国家試験過去問題）と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第4章～6章)	神経系、感覚器、血液の演習（国家試験過去問題）と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第7章～8章)	循環器系、呼吸器系、消化器系の演習（国家試験過去問題）と解説
4	皮膚科学（第1章）	皮膚の構造
5	皮膚科学（第2章）	皮膚付属機関の構造 1項 毛

6	皮膚科学（第2章～3章）	皮膚付属器官の構造 2項 脂腺 3項 汗腺 4項 爪 皮膚の循環器系と神経系
7	皮膚科学（第4章）	皮膚と付属器官の生理機能
8	まとめ(第1章～第4章)	テストを実施する
9	解説	振り返り・解説
10	皮膚科学（第5章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
11	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 1項 皮膚の異常と病態 2項 皮膚炎・湿疹 3項 蕁麻疹・4項 薬疹 5項 口唇の疾患
12	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾 6項 温熱・寒冷による皮膚障害 7項 角化異常による皮膚疾患 8項 色素異常による皮膚疾患 9項 管腫 10項 脂腺母斑 11項 下肢静脈瘤 12項 分泌異常による皮膚疾患
13	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 13項 化膿菌による皮膚疾患 14項 ウイルスによる皮膚疾患 15項 真菌による皮膚疾患 16項 衛生害虫による皮膚疾患 17項 感染症の皮膚予防 18項 毛と爪の疾患 19項 皮膚の腫瘍
14	総まとめ	テストを実施する
15	解説	振り返り・解説
16	皮膚科学の復習（第1～2章）	皮膚の構造と皮膚の付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習（第2章～4章）	皮膚の付属器官の構造と循環器系と神経系の演習と解説
18	皮膚科学の復習（第5章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習（第6章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り

23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）	1	30
使用教材	文化論	出版社	社）日本理容美容教育センター		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	春藤 聡子	実務経験	○		
実務内容	当校で、美容文化論/デッサンイラストレーションを【10年以上】担当。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治）	明治・髪型・服装について
2	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治）	明治・服装について
3	第3章ファッション文化史日本編 第7.8節 近代（大正・昭和20年代）	大正・昭和の髪型・服装について
4	第3章ファッション文化史日本編 第9節 現代（1945～1950年代）	1945～1950年代の髪型・服装について
5	第3章ファッション文化史日本編 第10節 現代（1960～1970年代）	現代（1960～1970年代）の髪型・服装について

6	第3章ファッション文化史日本編 第11節 現代（1980～1990年代）	現代（1980～1990年代）の髪型・服装について
7	第3章ファッション文化史日本編 第11節 現代（1980～1990年代）	現代（1980～1990年代）の髪型・服装について
8	第3章ファッション文化史日本編 第12節 現代（2000～2010年代）	現代（2000～2010年代）の髪型・服装について
9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
10	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
11	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説

23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）	1	30
使用教材	運営管理		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。				
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場のを理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	西村 泉美	実務経験	○		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節 第3節	講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する 経営とは何か、経営者の責任、経営の目的を理解する
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第4節 第5節	経営戦略とは何かを理解する
3	第2章 理容業・美容業の経営について 第1節 第2節	業界の概要、理容業・美容業を取り巻く社会の変化を理解する

4	第2章 理容業・美容業の経営について 第3節 第4節 第5節	理容業・美容業における競争を理解する 競争の未来図、理容業・美容業の顧客を理解する
5	第3章 資金の管理 第1節 第2節 第3節 第4節	資金管理の重要性と資金の流れを把握/収支と損益を理解する 資産と負債、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する
6	第3章 資金の管理 第5節 第6節	税金①税金の種類と支払うタイミングを理解する 税金②税金の申告 青色申告と白色申告を理解する
7	まとめ	小テスト
8	第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	人という資源・労働者の権利 やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する
9	第2章 従業員としての視点から 第1節 第2節	社会保険①国民年金を学ぶ 社会保険①厚生年金を学ぶ
10	第2章 従業員としての視点から 第3節	社会保険②健康保険を学ぶ P68～P71
11	第2章 従業員としての視点から 第3節	社会保険②国民健康保険・介護保険を学ぶ P71～P73
12	第2章 従業員としての視点から 第4節	社会保険③雇用保険を学ぶ 社会保険③労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ
13	第3章 健康・安全な職場環境の実現 第1節 第2節	健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康 理容業・美容業に特徴的な健康課題、作業環境に関する健康問題を理解する。
14	まとめ	前期授業習得度の確認・前期定期試験
15	振り返り	解答&解説
16	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン 第2章 サービス・マーケティング	サービス・デザインの基本を学び、サービス・システム①を学ぶ サービス・システム②、新しいサービスをデザインする。 理容業・美容業のマーケティング、マーケティングリサーチ、サービスの改善を理解する。
17	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	コミュニケーションやコスト、情報活用について理解する。 接客についての理解を深める。接客の実践①-③を理解する。 接客におけるトラブル対応を理解する。
18	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説

20	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	まとめ	小テスト
23	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ	後期筆記内容の解説。 運営管理授業全般の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）	1	30
使用教材	関係法規・制度		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。				
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。				
評価基準	テストおよび小テスト：80% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松田 朋彦	実務経験	○		
実務内容	専門学校講師（当校等）、大学教師（北海道教育大学等）として現在勤務中				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章 法制度の概要 第1節 第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会生活における法の役割 日本の法令体系
2	第1章 法制度の概要 第3節 第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章 衛生行政の概要 第1節 ～ 第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章 理容師法・美容師法 第1節 第2節	「美容師法」の目的 「美容師法」で用いられる用語の定義
5	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許取得までの過程

6	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許の申請と欠格条件
7	まとめ	まとめを実施する
8	解説	振り返り・解説
9	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師に求められる義務
10	第3章 理容師法・美容師法 第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章 理容師法・美容師法 第3節	管理美容師
12	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する
15	解説・総まとめ	振り返り・解説
16	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
19	第4章 関連法規	衛生に関連する法律、業の振興に関連する法律
20	第4章 関連法規	雇用に関連する法律、消費者保護に関連する法律
21	まとめ	まとめを実施する
22	解説	振り返り・解説
23	第1章 第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習

25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する
27	解説	振り返り・解説
28	総復習（1）	国家試験過去問演習等
29	総復習（2）	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）	2	60
使用教材	衛生管理		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で衛生面についての理解する。				
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	河合 静香	実務経験	○		
実務内容	看護師として消化器内科・血液内科等で勤務し、その後、生理学・皮膚学・衛生管理の講師として専門学校に勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	公衆衛生	公衆衛生のまとめと問題演習
2	環境衛生	環境衛生のまとめと問題演習
3	感染症	感染症のまとめと問題演習
4	総まとめ	総まとめを行う
5	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意

6	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論①	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
7	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論②	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
8	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論③	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
9	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒薬の概要、消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
10	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の消毒の実際
11	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領①	第1 目的～第4 衛生的取り扱い等
12	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第5 消毒～第6 自主的管理体制
13	まとめ	衛生管理技術、衛生管理の実際 まとめを実施する
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説

25	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	化粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	化粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）	2	60
使用教材	化粧品化学		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や化粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容技術理論」、及び「美容実習」と関連させながら、実際的な知識の習得する。				
到達目標	美容の化粧品化学・美容機器・化粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	衛生管理、美容保健、美容技術理論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	安藤 智美	実務経験	○		
実務内容	道内大手学習塾にて、理科・数学講師として勤務経験あり（小・中・高生対象）【17年】 公立高校入試解答速報に3回出演歴あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 第1章：化粧品総論 第2章：化粧品を使用する際に気を付けること	化粧品の社会的意義を踏まえ、その有効性と安全性を確保するための国による規制やメーカーの対応などから使用する際の注意その他
2	第3章：化粧品の成り立ち 「水と親水性溶媒」	溶質と溶媒、有機・無機化合物、アルコールの種類と特徴のまとめ
3	第3章：化粧品の成り立ち 「油性原料」「界面活性剤」	油性原料（油脂、ロウ類、炭化水素、高級脂肪酸、高級アルコール、シリコーン油など） 界面活性剤の種類と性質
4	第3章：化粧品の成り立ち 「高分子化合物」「色材」	高分子化合物（天然・半合成・合成） 色材（無機顔料・タール色素など）
5	まとめ総合および中間試験	1～4回までの総復習および中間試験

6	第3章：化粧品の成り立ち 「天然色素」「香料」「配合原料」	天然色素、香料、配合原料（防腐剤・紫外線吸収剤・酸化防止剤・収れん剤など）合成樹脂など
7	第2編 第1章：スキンケア製品①	クレンジング用化粧品・コンディショニング用化粧品（クリーム・乳液を含む）とエモリエント剤の復習
8	第2編 第1章：スキンケア製品②	トリートメント用化粧品・サンケア製品・美白用化粧品・ニキビ用化粧品・打粉類・パック剤
9	第2編 第2章：メイクアップ製品	ベースメイクアップ製品、アイメイクアップ製品、まつ毛ケア製品、ネイルメイクアップ製品
10	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品①	ヘアクレンジング用化粧品、ヘアコンディショニング用化粧品、ヘアスタイリング料・総復習
11	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品②	パーマ剤（パーマの原理、分類など）
12	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品③	ヘアカラー製品・スカルプケア製品
13	まとめ総合および期末試験	6回から12回までの総復習および期末試験
14	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
15	前期総まとめ	前期総まとめ
16	前期内容確認	前期で学習した内容を総復習しながら、不十分な範囲などを補足する。
17	化学範囲補充	教科書化学範囲（関連事項）について補足授業
18	化粧品化学総合①	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
19	化粧品化学総合②	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
20	化粧品化学総合③	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
21	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
22	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説

23	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
24	まとめ総合および期末試験	期末試験（全範囲）
25	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）	2	60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式・カット教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10% カット：総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-E				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	進藤琢哉他	実務経験	○		
実務内容	美容室で美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき（ウェーブ・リッジ）、計測25分
2	オールウェーブセッティング	1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき（ウェーブ・リッジ）復習、計測25分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール導入（手順、スライス、ピニング）、美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生

4	オールウエーブセッティング	1 段目～3 段目、くり抜き復習、計測 20 分 4 段目 右リフトカール、5 段目左リフトカール復習、強化、計測各カール 3 分、美容師国家試験衛生 6 段目メイポール導入
5	オールウエーブセッティング	1 段目～3 段目、くり抜き復習、計測 20 分 4 段目 右リフトカール、5 段目左リフトカール復習、強化、計測各カール 3 分、美容師国家試験衛生 6 段目メイポール復習、強化
6	オールウエーブセッティング	1 段目～3 段目、くり抜き復習、計測 20 分～17 分 4 段目 右リフトカール、5 段目左リフトカール復習、強化、計測各カール 3 分、美容師国家試験衛生 6 段目メイポール復習、強化、7 段目クロッキノールカール導入
7	オールウエーブセッティング	1 段目～3 段目、くり抜き復習、計測 20 分～17 分 4 段目 右リフトカール、5 段目左リフトカール復習、強化、計測各カール 3 分、美容師国家試験衛生 6 段目メイポール、7 段目クロッキノールカール復習、強化、7 段構成全体のバランス
8	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティングまとめを実施する 1 段目～3 段目、くり抜き、4 段目右リフトカール、5 段目左リフトカール計測 26 分 6 段目メイポール、7 段目クロッキノールカール復習、強化、計測、7 段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング	7 段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測 4 段目～7 段目カール計測 15 分 7 段構成 計測 35～30 分、美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティングまとめを実施する（全頭 35 分） 7 段構成 計測 35～30 分 美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング	7 段構成 30～25 分 美容師国家試験衛生
12	オールウエーブセッティング	7 段構成 30～25 分 美容師国家試験衛生
13	オールウエーブセッティング	7 段構成 25 分 美容師国家試験衛生
14	オールウエーブセッティング 総まとめ	7 段構成 25 分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]

17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]
21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]
23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）	2	60
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ - A美容実習Ⅱ - C・美容実習Ⅱ - D・美容実習Ⅱ - E				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。 				
担当教員	西川ゆさ他	実務経験	○		
実務内容	美容室で美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き22分～20分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き22分～20分
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分

5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
9	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 全島計測20分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]
21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]

23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）		90
使用教材	ワインディング教材一式 オールウエーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% オールウエーブ：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「オールウエーブセッティング」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	鶴本純子他	実務経験	○		
実務内容	美容室にて美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する

5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]
21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]
23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]

24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）		90
使用教材	オールウェーブ教材一式 カット教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験 研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カットの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 各校フリー：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「各校フリー」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	田賀佳代他	実務経験	○		
実務内容	美容室にて美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生

6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]
21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]
23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]

25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）		90
使用教材	ワインディングまたはオールウエーブ教材一式・ カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-D				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	白戸ありさ他	実務経験	○		
実務内容	美容室にて美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生

6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する
8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）		60
使用教材	教本・花嫁テキスト・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ひも(4)・ 仮ひも(1)・和装スリッパ(下着)・クリップ(5)・足袋・ウェストベルト		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付も習得し、 ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける				
到達目標	礼装・花嫁着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、業界で通用する人材となる。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け2級（5月強制受験 免許強制） ・花嫁着付3級（12月強制受験 免許強制） を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	美容実践Ⅰ－C				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	齋藤 元子	実務経験	○		
実務内容	結婚式着付、着付講師、成人・卒業式着付、着付ショー出演				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方3	考査票の記入、 振袖着付を仕上げる（検定対策）
2	振袖の着せ方4	振袖着付を仕上げる（検定対策）
3	振袖の着せ方5	振袖着付を仕上げる（検定対策）

4	振袖の着せ方 6	振袖着付を仕上げる（検定対策）
5	振袖の着せ方 7	振袖着付を仕上げる（検定対策）
6	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
7	検定試験	きもの着付 2 級検定試験を実施する
8	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について、検定結果通知
9	留袖の着せ方 2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
10	浴衣の着方 男性浴衣の着せ方	女性浴衣の自装 半幅帯バリエーション 男性浴衣について
11	座学 1	着物の TPO（プリント③④）を学ぶ
12	花嫁着付内容説明	デモンストレーション、小物の準備/使い方/片付けについて
13	花嫁着付 1	補整の説明と仕方、長襦袢の着付を学び実践する
14	花嫁着付 2	補整の仕方、長襦袢の着付を実践する
15	総合学習	花嫁着付と総まとめを行う
16	花嫁着付 3	考査票の記入、 補整、長襦袢、掛下の着せ方（衿合わせ）を学び実践する
17	花嫁着付 4	補整、長襦袢、掛下の着せ方（裾引き）を学び実践する
18	花嫁着付 5	掛下までの着付を実践（復習）する
19	花嫁着付 6	掛下の着付の実践（復習） 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
20	花嫁着付 7	掛下の着付の実践（復習） 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
21	花嫁着付 8	掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
22	花嫁着付 9	掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）

23	花嫁着付10	掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
24	花嫁着付11	掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
25	検定向上会	総仕上げ、テストの流れについて
26	検定試験	花嫁着付け3級検定試験を実施する
27	打掛の掛け方	掛下に文庫結び、お絡げ・褌どり・お搔い取り、検定結果通知 たたみ方テストを実施する
28	紋服	紋服について、紋服・袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
29	女袴	女袴について、女袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
30	総合学習	国家試験対策としてテストを実施、解説する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）		60
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・和装スリッパ(下着)・クリップ(2)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	<p>着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。</p> <p>技術の習得目安として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きもの着付け3級（6月強制受験 免許強制） ・きもの着付け2級（12月強制受験 免許任意） <p>を取得することが出来る。</p>				
評価基準	<p>検定試験：40%</p> <p>テスト：30%</p> <p>授業態度：30%</p>				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	<p>一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、</p> <p>一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格</p>				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	齋藤 元子	実務経験	○		
実務内容	結婚式着付、着付講師、成人・卒業式着付、着付ショー出演				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する

4	小紋の着せ方3	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7	小紋の着せ方6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け3級検定（小紋の着付と蝶結び（20分））を実施する
11	座学1	着物の名称と用語（プリント①②）を学ぶ 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する たたみ方テストを実施する
13	座学2	着物のTPO（プリント③④）を学ぶ
14	小紋と名古屋帯	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（お太鼓結び）と総まとめを行う
16	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
17	振袖の着せ方2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18	振袖の着せ方3	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
19	振袖の着せ方4	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
20	振袖の着せ方5	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
21	振袖の着せ方6	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
22	振袖の着せ方7	振袖の着付を仕上げる（検定対策）

23	振袖の着せ方 8	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
24	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
25	検定試験	きもの着付け2級検定試験（振袖にふくら雀30分）を実施する
26	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
27	留袖の着せ方 2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
28	紋服の着せ方	紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
29	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）	3	90
使用教材	ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師業界における基本的理論技術の習得と グローバルスタンダードに準拠したサービス提供の一連の流れの理解				
到達目標	デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ◆実技試験合格 20% ◆筆記試験合格 10% ◆総まとめ 20% ◆まとめ 10% ◆提出物 30% ◆授業態度 10% 				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	City & Guilds 国際美容技能認定書/Module.2				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。 				
担当教員				実務経験	
実務内容	City & Guilds Examiner Certificate（国際美容技能試験官） / Seyfer Learning Academy 講師 ほか				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ City & Guilds の概要や国際美容技能試験の規定を理解する ・ 試験の評価項目や合格するためのポイントを理解する
2	カウンセリングカット① (ウイッグ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ カットに関するカウンセリング方法やシートの記入方法を学ぶ ・ カットの基本動作およびワンレングスカットを学ぶ

3	カット②（ウイッグ）	<ul style="list-style-type: none"> ・レイヤーカットおよび毛量調整カットを学ぶ ・ブラシを使用したブロー技術を学ぶ
4	カット③（ウイッグ）	<ul style="list-style-type: none"> ・グラデーションカットおよび毛量調整カットを学ぶ ・次回の相モデル実習に向けた施術計画の準備をする
5	カット（相モデル）	<ul style="list-style-type: none"> ・相モデルでカットをする際の入客方法やカット技法、注意点などを学ぶ ・ヘルプの方法や周囲を見ながらサロンワークをおこなう重要性を学ぶ
6	カラー①（ウイッグ）	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーに関するカウンセリング方法やシートの記入方法を学ぶ ・ウィーピングカラーの基本動作を学ぶ
7	カラー②（ウイッグ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ブリーチ剤を使用したウィーピングカラー技術を学ぶ ・ハイライトのデザインを学ぶ
8	カラー③（ウイッグ）	<ul style="list-style-type: none"> ・カラー剤を使用したウィーピングカラー技術を学ぶ ・次回の相モデル実習に向けた施術計画の準備をする
9	カラー（相モデル）	<ul style="list-style-type: none"> ・相モデルでカラーをする際の入客方法やカラー技法、注意点などを学ぶ ・ヘルプの方法や周囲を見ながらサロンワークをおこなう重要性を学ぶ
10	アップ①（ウイッグ）	<ul style="list-style-type: none"> ・アップに関するカウンセリング方法やシートの記入方法を学ぶ ・アップの基本動作を学ぶ
11	模擬試験アップ（相モデル）	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングシートを提出し、相モデルでヘアアップの模擬試験をおこなう ・講師からフィードバックをもらい、本試験の準備をおこなう
12	模擬試験（カット・カラー）	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングシートを提出し、モデルでのカットカラー模擬試験をおこなう ・講師からフィードバックをもらい、本試験の準備をおこなう
13	試験対策授業	<ul style="list-style-type: none"> ・本試験前最後の確認および復習を行い、本試験に備える
14	本試験①	<ul style="list-style-type: none"> ・City & Guilds 実技本試験実施 / これまでの振り返りを行う
15	本試験②	<ul style="list-style-type: none"> ・City & Guilds 実技本試験実施 / これまでの振り返りを行う
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]
21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]

22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]
23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - B		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）	3	90
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト） スマホアプリ(VOGUERUNWAY等)、雑誌(VOGUE/MODE ET MODE等)			出版社	ユアサポート

科目の基礎情報②

授業のねらい	<p>【特殊・アーティスト・モデルメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする</p> <p>【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。</p>				
到達目標	<p>【特殊・アーティスト・モデルメイク】</p> <p>トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける</p> <p>様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける</p> <p>メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる</p> <p>【ベーシックメイク】</p> <p>メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。</p>				
評価基準	<p>・【特殊・アーティスト・モデルメイク】(テスト 30%、提出物 10% 授業意欲 10%)</p> <p>・【ベーシックメイク】(テスト 30%、提出物 10% 授業意欲 10%)</p>				
認定条件	<p>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</p> <p>・成績評価が2以上の者</p>				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ - B				
備考	<p>・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。</p> <p>・(ベーシックメイク) + (特殊・アーティスト・モデルメイク)</p>				
担当教員	竹之内詩織他	実務経験	○		
実務内容	美容部員、メイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 ベースメイク導入、実践

2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	年代別のメイク①	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
4	年代別のメイク②	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
5	年代別のメイク③	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
6	年代別のメイク④	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
7	年代別のメイク⑤	テスト、振り返り
8	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践) テーマに合わせて行う
9	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
10	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(実践) テーマに合わせて行う
11	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(テスト) テーマに合わせて行う
12	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
13	作品制作①	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
14	作品制作②	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
15	総合授業	まとめを行う
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]

21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]
23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）	3	90
使用教材	【ブライダルエステ】 教科書・クリエヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類 【ベーシックメイク】 メイク道具一式、メイクアップテキストベースック（デジタルテキスト）		出版社	【ブライダルエステ】 日本エステティック協会、日本理容美容教育センター 【ベーシックメイク】 ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ブライダルエステ】 身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。 【ベーシックメイク】 スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【ブライダルエステ】 ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。 【ベーシックメイク】 メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・【ブライダルエステ】(実技試験 40%(フェイシャル 20%・ボディ 20%)授業態度・提出物 10%) ・【ベーシックメイク】(テスト 30%、提出物 10% 授業意欲 10%) 				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、ブライダルメイク検定(任意) 認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン				
関連科目	美容実践Ⅰ - C				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク) + (ブライダルエステ) 				
担当教員	佐久間一栄他	実務経験	○		
実務内容	美容部員、ヘアメイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ボディエステティックとは	1 コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1 コマ：1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ 1 コマ：授業準備・ルールについて、ベッドセッティング
2	接客マナー（相モデル）	1 コマ：ベッドセッティング 1 コマ：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 1 コマ：基本動作・ベッド誘導

3	前操作（相モデル）	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ 前操作デモ・練習
4	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習
5	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
7	ボディ実技試験 成績評価①	ご案内-消毒-下肢後面マッサージ-ふき取り-誘導 × 2クール～4クール人数に応じて ※相モデル
8	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1コマ：1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ 1コマ：事前準備・基本動作・ベッド誘導 1コマ：基本手技・HOT タオルの流れシュミレーション
9	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内-デコルテ1～7(美容技術)-HOT タオルふき取り(技術編Iプリント)
10	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内-フェイシャル1～11(美容技術)-HOT タオルふき取り(技術編Iプリント)
11	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・デモ ご案内-全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り-整肌
12	フェイシャルマッサージ 4	通し練習 ご案内-フェイシャルクレンジング(技術編Iプリント)-マッサージ-ふき取り-整肌-誘導
13	フェイシャル実技試験 成績評価②	ご案内-フェイシャルクレンジング-マッサージ-ふき取り-整肌-誘導
14	マッサージ総合・マスク	1コマ：デモマスク塗布・ふき取り 通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マッサージ-マスク-ふき取り-整肌-誘導
15	総合授業	総まとめを行う
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]

21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]
23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - E		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）	3	90
使用教材	【ネイル検定対策】 JNA テクニカルシステム ベーシック、ネイル用具一式 【ベーシックメイク】 メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社	【ネイル検定対策】 NPO 法人日本ネイリスト協会 【ベーシックメイク】 ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ネイル検定対策】 基礎的なマニキュア技術を実践でき、JNEC3級検定取得と様々なアート技術を学び、説明し実践できる 【ベーシックメイク】 スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【ネイル検定対策】 ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、サロンワークで対応できる爪の補強やアートを習得 【ベーシックメイク】 メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・【ネイル検定対策】(検定結果15%・授業態度他5%・筆記テスト15%・実技テスト15%) ・メイク(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%) 				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNEC ネイリスト技能検定3級（任意）・JNA ジェルネイル検定初級（任意） 2年4月 2年7～12月 メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ - E				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク) + (ネイル検定対策) 				
担当教員	菅野 香奈子	実務経験	○		
実務内容	美容部員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プレパレーションデモ リベア（シルクラップ）デモ・実技	ラップ素材を使用して 爪の修正を学ぶ
2	2級検定説明(2級検定DVD) 2級検定実技	2級検定について説明し 受験希望者を確認
3	チップオン・チップラップデモ 相モデル	チップによる付け爪の習得

4	チップオン・チップラップ相モデル	同上
5	チップオン・チップラップ相モデル	同上
6	トリートメントデモ 相モデル・ケア・トリートメント	サロンワークに必要なトリートメント
7	エンボスアート	エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
8	エンボスアート	同上
9	ミックスメディアアート	3Dアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
10	ミックスメディアアート	同上
11	チップラップ実技	テスト前に技術の再確認
12	実技試験（2級と同じ内容）	実技試験 J NEC2 級検定受験内容に準じる
13	実技試験（2級と同じ内容）	実技試験 J NEC2 級検定受験内容に準じる
14	筆記試験 実技練習	筆記試験 J NEC2 級検定受験内容に準じる 実技試験の振り返り
15	総合授業	総まとめを行う
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]
21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]

22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]
23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - F		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - F		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）	3	90
使用教材	HAIR COLOR ACADEMY の web コンテンツ、ウィッグ、ヘアカラー教材一式 メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘアカラーリスト→応用的なカラーの考え方が理解・実践できる。 ベーシックメイク→スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	ヘアカラーリスト→コントラストハイライト、パレイヤージュ、シャドルーツのプロセスが明確で、適切に施術できる。 狙った色味を表現できる。 ベーシックメイク→メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	総まとめ 30% まとめ 20% 提出物 20% 授業態度 30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。 この科目は「ヘアカラーリング」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	今江 将一郎	実務経験	○		
実務内容	美容室で美容師として勤務し、店長を務める				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的・評価基準・マナールール説明 教材確認（教材の名称・扱い方・管理方法）、前期の振り返りを行う
2	実技テスト	ブリーチ+オンカラー+薬剤選定についてテストを行う
3	コントラストハイライトとは①	HAIR COLOR ACADEMY コントラストハイライトについて

4	コントラストハイライトとは②	コントラストハイライト 練習とチェックを行う
5	コントラストハイライトとは③	コントラストハイライト 練習とチェックを行う
6	バレイヤージュとは①	バレイヤージュの練習を行う
7	バレイヤージュとは②	バレイヤージュ練習とチェックを行う
8	バレイヤージュとは③	バレイヤージュ練習とチェックを行う
9	シャドールーツとは①	HAIR COLOR ACADEM シャドールーツ（弱）の練習
10	シャドールーツとは②	シャドールーツ練習とチェックを行う
11	シャドールーツとは③	シャドールーツ練習とチェックを行う
12	自由制作	画像を参考に1つのスタイルを作る①
13	自由制作	画像を参考に1つのスタイルを作る②
14	発表会	施術工程、薬剤選定の理由も理論的に発表を行う
15	総合授業	前期振り返りを行う
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]
21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]

23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワーク A		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワーク A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）	4	120
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	カット・パーマ・カラーの基本技術・理論を理解し、習得させる。				
到達目標	実践の授業で応用が出来るように、サロンワークの授業を通して基礎理論・技術を習得する。				
評価基準	総まとめ 30% まとめ 20% 提出物 20% 授業態度 30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	美容実習Ⅱ-A・B・C・D・E・F 美容実践Ⅱ-A				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	増田京佑他	実務経験	○		
実務内容	美容室で美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明
2	カットについて理解する	シザーの扱い方・姿勢・ブロッキング・基礎理論・ベーシックな技法の理解をする。
3	ワンレングスカット①	ワンレングススタイルの基本中の基本であるプラントカットを理解し、習得する。
4	ワンレングスカット②	ワンレングススタイルの完成
5	グラデーションカット①	グラデーションの意味を理解し、カット技法を習得する。
6	グラデーションカット②	グラデーションスタイルの完成

7	レイヤーカット①	レイヤーカットの知識を身に付け、カット技法を習得する。
8	レイヤーカット②	レイヤースタイルの完成
9	セიმレングスカット①	オンベースを理解・意識し、セიმレングスタイルを作り上げる。
10	セიმレングスカット②	セიმレングスタイル（メンズカット）の完成
11	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
12	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
13	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
14	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
15	総まとめ	総まとめ（学んだ知識・技術を活かし、1スタイルの完成）
16	パーマ①	パーマスタイル&巻き方の種類を知り、習得する。
17	パーマ②	ダウンスタイルの作成
18	パーマ③	フォワード・リバーススタイルの作成
19	パーマ④	ツイストスタイルの作成
20	パーマ⑤	上記バリエーションを活かし、スタイル作成
21	カラー①	カラーの種類・デザインを知り、習得する。
22	カラー②	永久染毛剤（アルカリカラー）を使用し、手順や染まり方を理解する。
23	カラー③	半永久染毛料（酸性カラー・マニキュア等）を使用し、作品を完成させる。
24	カラー④	一時染毛料（カラーチョーク・スプレー）を使用し、作品を完成させる。
25	カラー⑤	上記を使用し、スタイルを完成させる。

26	カット&パーマ①	上記で習得したカット&パーマを織り交ぜたスタイルの作成。
27	カット&パーマ②	上記で習得したカット&パーマを織り交ぜたスタイルの作成。
28	カット&カラー①	上記で習得したカット&カラーを織り交ぜたスタイルの作成。
29	カット&カラー②	上記で習得したカット&カラーを織り交ぜたスタイルの作成。
30	総まとめ	総まとめ（学んだ知識・技術を活かし、1スタイルの完成）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワーク F		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワーク F		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科（2年制）	4	120
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい					
到達目標					
評価基準	総まとめ 30% まとめ 20% 提出物 20% 授業態度 30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	美容実習Ⅱ-A・B・C・D・E・F 美容実践Ⅱ-A				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	林京平他	実務経験	○		
実務内容	美容室で美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	同上	同上
2	同上	同上
3	同上	同上
4	同上	同上
5	同上	同上
6	同上	同上

7	同上	同上
8	同上	同上
9	同上	同上
10	同上	同上
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	同上	同上
15	同上	同上
16	同上	同上
17	同上	同上
18	同上	同上
19	同上	同上
20	同上	同上
21	同上	同上
22	同上	同上
23	同上	同上
24	同上	同上
25	同上	同上

26	同上	同上
27	同上	同上
28	同上	同上
29	同上	同上
30	同上	同上